

理事・会員数 (2024年1月現在)

会 長	菊池 新一
副会長	新田 勝見、徳吉 英一郎
理 事	荒川 栄悦、菊池 茂勝、糠森 隆、奥寺 晴夫、佐々木 憲康、小笠原 晋、菊池 貴久子、浅沼 亜希子
監 事	菊池 千恵子、佐々木 康行
会員数	68名(うち正会員43名)
事務局	13名(内1名 遠野市地域おこし協力隊)

沿革

2003年3月24日	設立総会
2003年6月16日	特定非営利活動法人登記完了
2003年7月13日	設立記念認証シンポジウム
2004年7月23日	遠野体感型宿泊自動車免許開始、第3種旅行業免許
2011年3月12日	東日本大震災後方支援活動開始
2016年2月24日	認定特定非営利活動法人への認定
2019年9月1日	遠野旅の産地直売所の立ち上げ
2023年4月1日	観光施設「とおの物語の館」指定管理業務受託(最近の授賞歴)
2015年度	農水省ディスカバリー農山漁村の宝「グローバル省受賞」
2021年度	東北農政局ディスカバリー農山漁村の宝「優良事例」
2021年度	総務省 ふるさとづくり大賞「団体表彰」
2023年度	まちむら機構「オーライ! にっぽん大賞」
2023年度	第14回地域再生大賞「北海道・東北ブロック賞」

事業目的

認定NPO法人遠野山・里・暮らしネットワークは、遠野郷を主たるフィールドとしています。「資源を生かした都市住民との交流の深化と移住の促進」「伝統文化・芸能・技術・技芸の伝承と進化と応用」「里地・里山における循環的な生活スタイルの再興と実践」を柱に具体的な事業を行うことにより、社会全体の利益の増進に寄与することを目的としています。

クラスター組織 ～草の根型組織の水平連携～

遠野グリーン・ツーリズム研究会	1995
つきもうしファーマーズネット	1997
あやおり夢を咲かせる女性の会	1994
パハヤチニカ編集委員会	1994
遠野郷馬っこ王国ライディングクラブ	2001
NPO法人遠野エコネット	2003
農事組合法人宮守川上流生産組合 環境部会	1998
遠野民泊協会	2006
東北まちづくり実践塾	2007
里山クラブ やかまし村	2008
あくていぶまみ～	2004
MG企画	2019

活動の概要



ワーキングホリデー

農家とともに労働し、食事をし、数日間滞在する金銭のやり取りのない農家の居候体験を通して、互いの楽しみや生きがいづくりを目的に実施しています。

人材育成のための研修企画

東北ツーリズム大学等、東北各地の「文化」「食」「交流」「旅」「地域」等の農の多面的な価値を広く共有し、それらを学びの場にするカリキュラムを毎年実施しています。

クラスター支援

里山・文化・暮らし・馬等の地域資源を活かした活動を展開する遠野市内の十数団体との協働での事業展開や各種サポート業務を実施しています。

遠野旅の産地直売所運営

「ありのままの暮らしを味わうこと」を旅の資源とし地域住民やGT実践者の他に多様な方々と連携し、食や暮らし、生業を強みにしたツーリズムを販売を2019年度～運営。

里地・里山保全・活用

住民自らが里地・里山の保全や整備、体験活動等を通して、循環的な生活スタイルの再興と実践を目的に実施しています。



農村民泊の推進

100軒程の遠野民泊協会会員と協働し、遠野の暮らしぶりを交流の資源とした民泊の推進と、農家民宿の立ち上げからサポートまでを実施しています。

遠野体感型自動車合宿免許

遠野ドライビングスクールや宿泊施設、各種体験施設と協働をして、合宿型自動車免許のカリキュラムの合間に農村民泊や馬や陶芸などの体験を提供するプログラムの実施をしています。

各種視察研修受け入れ

研修内容は、グリーンツーリズムや各種ビジネスを活かした地域づくり、復興応援としての後方支援の取り組み等が主です。また、旅行業第3種の旅行企画も実施しています。

東日本大震災復興支援

東日本大震災の被害地域である岩手県三陸沿岸地域での自立支援のためのコミュニティづくり、ツーリズム事業での協働、大学生研修受け入れなど各種協働事業のサポート。

地域づくり・起業サポート

岩手県内外のグリーン・ツーリズムやコミュニティビジネス等に取り組む地域の方々と共に地域づくりや起業のサポートを実施しています。

最近の取り組み

個人旅行や教育旅行、視察研修など遠野に多くの方々が訪れています。また、様々な取り組みに挑んだ事業を発展的に継続しています

【農水省 RMO 事業】地域の知恵と経験を地域の元気に

農村 RMO 事業とは、土淵や関係機関、市の方々と共同しながら地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践することです。「遊休農地活用やメロンの新規栽培」「買い物支援や炭焼づくり等のスモールビジネスの支援」「旧土淵中学校の教室活用（日替わりシェフのレストラン、わらや竹細工・ポップ和紙の後継者育成・作業グループ作り）」「農泊推進事業」「移動販売による買い物支援」など実証を重ねてきました。



教室活用

【おためし移住ツアー】花巻・遠野市共同事業好評！

いわて花巻・遠野おためし移住モニターツアーは、花巻市か遠野市に移住を希望する全国の方々を対象に清秋と厳冬の時期に計 2 回開催しました。2 泊 3 日各 10 名定員で、将来的に移住をイメージできるように、地域の魅力を感じられる名所や農家民宿などの生活体験を通して暮らしぶりを体感していただきました。そして、移住者宅の訪問や地域住民・移住者との交流の機会も作りました。移住する気持ちを後押しする企画となりました。



移住者宅訪問の様子

【令和 5 年度「オーライ！ニッポン大賞」「地域再生大賞」受賞】

20 年来発展的に遠野のグリーン・ツーリズムに取り組んできたことが評価され、「第 19 回 オーライ！ニッポン大賞（まちむら機構主催、審査委員長養老孟司）『オーライ！ニッポン大賞』」を受賞。また、「第 14 回地域再生大賞（共同通信社主催、選考委員長東洋大学沼尾波子教授）」において「北海道・東北ブロック賞」を受賞することができました。この賞を励みに市内の皆さんとともに引き続き活動していきます。



審査委員長、審査員より授与

【いわてグリーン・ツーリズムカレッジ】県内の実践者の学び場

岩手県内のグリーン・ツーリズム実践者向けの研修会を岩手県より委託を受けて 11 月～1 月まで 6 回実施しました。地域資源の活用、体験インストラクター、農泊の起業、安全管理、起業、事業計画づくりを主なテーマにして、延べ 100 名の方が参加しました。遠野市を会場に座学と実習、現場視察を織り交ぜて、実践的に学べる内容で実施をしました。参加者同士の横の繋がりもでき、盛会のうちに終了。



ワークショップの様子

【地域おこし協力隊】

令和 5 年 4 月から当団体へ地域おこし協力隊として着任の角田静花（かくたしずか）さん。雫石出身で、首都圏で会社勤務を経て、グリーン・ツーリズムのコーディネーターに憧れ、キャンプ場を夫婦で経営することが夢と遠野へ移住しました。早速インバウンド対応や企画づくりなど実践経験を積んでいます。



写真中央「ウェルカム」を掲げる角田さん

【とおの物語の指定指定管理】

20 年来の生きがいと生業づくり、地域住民がこのまちに住む誇りを醸造するためなど、グリーン・ツーリズムを通した地域づくりを行ってきた当法人が、令和 5 年度より、中心市街地の観光施設「とおの物語の館」の指定管理を遠野市より受託することになりました。



【ふるさと納税】遠野旅の産直旅行券 返礼品として出品中！！

遠野旅の産地直売所で取り扱っている「すべての旅の商品」で使用することができる「遠野旅の産地直売所旅行券」を作成しました。遠野旅の産地直売所の全てのメニューで使用できます。楽天やふるさとチョイス（QR コードから WEB サイト）を見てみてください。



遠野旅旅行券とスタッフ

2022年度を数字で振り返る

- 遠野民泊協会 … 104軒（±0）
- 農村型ワーキングホリデー … 参加：14人/日（+13）、受け入れ：2軒（▲1）
- 遠野ドライビングスクール … 宿泊生参加者：535人（▲51） 内GT体験者数212人（+136）
- GT体験者数 … 延べ586人（+222） 内外国人6人（+5）
- 内体験型教育旅行 … 民泊校数：9校（大学ゼミ含む）（+6）、生徒数：延べ361人（+209）
- 東北ツーリズム大学 … 実施回数：1回（±0）、参加者：延べ50人（▲50）
- 被災地のコミュニティ作りのための大学生来訪：延べ150人 校数1校（公営住宅での交流会、海岸清掃、住宅の周りの環境整備）
- 視察受け入れ回数 … 31回（+17）（事務所等での講話を主な内容にした対応の回数）
- メディア掲載回数 … 16回（+5）

※（）は前年度対比

【JICA グローバルプロジェクト】

JICA 海外協力隊合格者が事前の地域実習として日本国内の地域づくりから実践を学ぶ活動「JICA 海外協力隊グローバルプログラム」。実習期間は 3 ヶ月。当団体には、滋賀県から大畑汀（おおはたなぎさ）さんが令和 5 年 4 月から 3 ヶ月間実習に来ています。赴任地で青少年活動に関わることから教育旅行の対応や地元の小中学生と交流する機会を得ることになります。



小中学生と交流体験

【棚田 fun ファンクラブ】

農水省つなぐ棚田遺産に認定されている遠野市宮守町にある棚田を舞台にした交流事業や米作り体験、コースごとに物産品を送るなどを内容にした 2 年目となるファンクラブ企画がスタートしました。詳細は WEB サイトへ。



主な助成事業等の実績

- 1. 遠野市 ツーリズム型交流推進事業 平成15年度から平成24年度 事業費 1,092千円～1,300千円
- 2. 農水省 農山漁村地域力発掘支援モデル事業平成20年度～21年度 事業費 2,067千円～3,000千円
- 3. 経産省 農商工連携等促進人材創出事業 平成20年度～22年度 事業費 8,361千円～11,388千円
- 4. 経産省 CB、SB元気アップ事業 平成23年度 事業費 2,300千円
- 5. 農水省 食と地域の交流促進対策事業 平成23年度～24年度（遠野ふるさと体験協議会事務局） 事業費 2,200千円～2,500千円
- 6. 内閣府 復興支援型雇用創出事業 平成24年度 事業費 14,000千円
- 7. 内閣府 復興支援型雇用創出事業 平成24年度（ふるさと回帰支援センターとの協働事業） 事業費 14,000千円
- 8. 総務省「域学連携」地域活力創出モデル実証事業 平成25年度（法政大学と遠野市の協働事業） 事業費 14,000千円
- 9. 農水省 農山漁村振興交付金事業 平成28年度～29年度（遠野・ふるさと体験協議会事務局） 事業費 4,000千円～5,984千円
- 10. 農水省 農山漁村振興交付金事業（農泊地域高度化促進事業）令和元年度（遠野・住田ふるさと体験協議会事務局） 事業費 1,747千円
- 11. 農林水産業みらい基金 農林水産業みらいプロジェクト 平成30年～3か年 事業費 9,950千円
- 12. 農水省 JAL農業留学2021 令和3年度 事業費 3,700千円
- 13. 岩手県被災者の参画による心の復興事業 令和2年度 2,545千円
- 14. 岩手県NPO等による復興支援事業費補助金 令和2年度 2,520千円
- 15. 岩手県 いわてグリーン・ツーリズムカレッジ開催委託業務 令和3年～令和5年度 事業費 2,079千円
- 16. 農水省 農村RMO事業 令和4年度～（土淵町農村活性化協議会事務局） 事業費 2,000千円～11,000千円

【遠野山・里・暮らしネットワーク 20 年の歩み】

GT のメニューの変遷、受け入れ者数 9,000 人程（2005 年度（教育旅行開始）対比 3.5 倍強増）

